

取締役会の実効性評価

当社は、毎年、各取締役の自己評価に基づく取締役会の実効性に関する分析・評価を実施し、取締役会の機能向上を図ってまいります。

2017年度の実効性評価の概要は、下記のとおりです。

記

【評価手続】

2017年度の実効性評価については、

- ・ 2018年4月、全取締役に対するアンケート調査を実施
- ・ アンケート調査結果は、代表取締役社長と社外取締役が分析・集約
- ・ 以上を踏まえ、取締役会において、現状の評価と今後の向上策について、審議・確認

【評価結果】

- ・ 取締役会は、2017年度、企業戦略の方向性を示すこと、適切なリスクテイクを行う環境整備を行うこと、経営陣に対する効果的な監督を行うことなど、実効性を確保したと評価している。
- ・ 特に2017年度は、“2025長期ビジョン”、“2017－19中期経営計画”の経営戦略に基づく業績評価、投融資案件評価が進行した。
また、社外独立取締役の増加により、議論がより活性化した。
- ・ ただし、次に掲げる点など、より効率的な論議を実現するために改善を継続する。
 - － 定例的な業務執行状況報告の簡素化。
経営戦略、企業統治等の進捗評価等に関する大局的な議論の拡大。
 - － 経営陣評価体制の整備。
 - － 経営陣後継者育成プログラムの強化。

以 上